

2018年6月9日第一日目基調講演

第1日目の基調講演は岩手医科大学神経精神科学講座、いわてこどもケアセンター副センター長の八木淳子先生にお願いすることになりました。八木先生は児童精神科医として小児例に対

する治療経験を豊富に持っておられます。また、東日本大震災以後は岩手県の沿岸地域のこどもを対象としたトラウマケアも実践しておられます。

今回の大会テーマである「支援の裾野

を広げよう」というテーマにふさわしい講演内容になると期待しております。

6月9日シンポジウム(午前, 午後)

第1日目の基調講演に引き続き、午前中には「地域における被害者支援の取り組み—多職種連携—」(仮)と題して、大分県における被害者支援についてのシンポジウムを開催いたします。司会は別府大学の金子進之助先生にお願いし、話題提供を

大分丘の上病院の帆秋善生先生、弁護士の三井嘉雄先生、大分被害者支援センター相談員の藤澤由美子先生、臨床心理士の山口直子先生にお願いしております。さらに指定討論を福岡市こども総合相談センターの藤林武史先生にお願い

しています。午後のシンポジウムは、JSTSS災害対応委員会の主催で、九州での自然災害(熊本・大分地震、九州北部豪雨)後の対応等をテーマに開催する予定です。



坊主地獄



地獄蒸し

6月8日プレコンgres前の観光バスツアー

前回第1号のニュースレターで、プレコンgres前に観光を希望する方へのご提案を検討している旨記載しておりました。

大会事務局で検討した結果、地元の亀の井バスが運営している別府地獄めぐりコース(定期観光バス)の利用を推

薦することといたしました。

別府駅前を8時35分に出発し、別府地獄を7か所観光したのち、11時15分頃に別府駅に戻ります。

6月8日のプレコンgresは午後より別府大学で予定しております。このツアーに参加した

方を対象に、別府駅周辺での昼食場所案内、および別府大学(プレコンgres会場)への案内を行うことを計画しております。

定期観光バスの詳細は <http://www.kamenoibus.com/> をご覧ください。

宿泊は別府市で！延べ500泊を目指します！

今回の会場であるビーコンプラザを使用するにあたっては、別府市内に延べ500人以上の宿泊者を伴う大会の場合、会場利用料の3分の2が助成されるという制度があります。

別府市には複数の温泉街があり、旅館でも夕食なしで宿泊できます。

私たち大会事務局では、大会参加者およびご家族等同伴者を合わせて、

500泊を目指したいと思います。

宿泊先は、別府市旅館ホテル組合のホームページから検索できます。

<http://www.coara.or.jp/ryokan/ryokan.html>

懇親会も鋭意準備中！

懇親会は、6月9日の夜に、ホテル白菊で行う予定です。ホテル白菊は別府を代表するホテルです。学会会場であるビーコンプラザからは徒歩11分(グーグルマップ調べ)となっています。大分県の海の幸、山の幸が十分楽しめて、懇親会代金を払っても十分元がとれるように現在大会事務局の総力を挙げて(事務局員の公私のできる限りを尽くして)準備をしております。絶対に損はさせない意気込みです。ぜひ懇親会参加もご検討ください。

大会事務局

別府大学臨床心理相談室
〒874-8501 別府市北石垣 82
TEL:0977-66-9650
FAX:0977-66-9007